

【令和5年度生ごみ処理機器モニターレポート Vol.21】

生ごみ処理機器を使用したモニターの声伝えていきます。



こちらの方は、2人家族のモニターです。

日々の使用状況について、匂いは特に気にならない程度で手間もかかっていないが、やはり電気料は増えてしまうため、使う回数は2日に1回程度にしているそうです。

そのため、夏の暑い時期は、腐敗や虫を防ぐ必要があることから、生ごみを冷凍庫に保管して次の日に処理機に投入する工夫をしていたそうです。

画像は、処理後の生ごみを堆肥としてパンジーとコスモスを植え、1ヵ月半位経過したものですが、うまく咲かせることができなかったそうです。

処理後の生ごみについて、これからの時期は堆肥としての活用ができなくなることから、可燃ごみとして排出するそうです。

【令和5年度生ごみ処理機器モニター事業について】

令和4年度に続き、令和5年度も釧路市では生ごみ処理機器の新たなモニターを募集し、使用した感想を発信していくことで生ごみの減容・減量化への意識を醸成していく取り組みを行っています。

皆さんも、モニターの声をもとに参考にして生ごみの減容・減量化に取り組んでみませんか？

※掲載されている内容は、あくまでも生ごみ処理機器を使用した感想であり、機器の性能評価ではありません。

【問合せ先】

釧路市市民環境部環境事業課

TEL 0154-31-4551 FAX 0154-24-4145

ka-haikibutu@city.kushiro.lg.jp